

悲運の勇将

はたときよし

畑時能公を偲ぶ

講演・吟・音楽のコラボレーション

歴史講演会

講演

演題

畑時能公

～それに連なる人たち～

勝山市市史編纂室

山田 雄造 氏

詩吟

鶉吟詩会

南朝の悲哀を詠う

—芳野に想いを寄せて—

音楽

篠笛演奏

青葉の笛 晩鐘

西出 たか子 氏

お話

祖先にまつわる話

畑 義和 氏 (神奈川県在住)

時能公に御贈位のありければ

ひさかたの雲いになおもととめけり

たかすの城のたかきいさをは

男爵・藤原雅之

日時 2024年8月25日(日)
13時30分～15時10分
会場 金津本陣IKOSSA
3階 大ホール
あわらし市春宮二丁目14-15
定員 70名
参加費 無料
主催 あわらし市文化学習課
共催 畑時能研究会

申し込み、問い合わせ先

あわらし市文化学習課
あわらし市市姫三丁目1-1
TEL 0776-73-8041
✉ bunka@city.awara.lg.jp



専用フォームからお申込みできます

—時能將軍について—
最後の拠点として鷹巣城に立てこもった時能は孤軍奮戦し、一三四年十月二十五日に壮烈な最後を迎えた。終始南朝の忠臣として享年四十一歳にて生涯を終えた。
橋本左内はその忠節の念に感動し、獄中で漢詩に詠んでいる。「鷹巣山懐古 弔時能將軍」で將軍の靈を慰め称えている。



江戸時代に描かれた畑時能のイメージ。『太平記』